

報道関係者各位
プレスリリース

2017年6月2日
紀ノ川農業協同組合

伝説のハート♡牛をさがせ！！～てんとうむしの恋～

紀ノ川農業協同組合(本所:和歌山県紀の川市平野 927、組合長理事 宇田篤弘、以下紀ノ川農協)は、来たる2017年8月11日(金祝)に、和歌山県海南市にある山地酪農(牛舎のない牧場)で有名な黒沢牧場(和歌山県海南市上谷 603)で婚活イベントを開催します！

牧場という広大な場所で、BBQ や宝さがしを行い、山の日に自然と親しみながらステキな恋をスタートしませんか。

当日は、黒沢牧場で恋の成就を見守ってきた伝説のハート牛が2人のキューピッドとして牧場を走りぬける予定です！詳細は紀ノ川農協HPを参照のこと(<http://www.kinokawa.or.jp/>)

婚活イベントといえば最近どこでも開催されており、珍しくなくなってきていますが、紀ノ川農協では、このイベントを通じ、農業、和歌山に関心を持っていただき、移住定住を促進し、農業を継承していきたいと考えています。

全国的にみても農業従事者は減少傾向にあり、さらに高齢化と相まって、農業の担い手不足という喫緊の課題に直面しています。現在の農業の現状を見ると、世襲で、子供へ農業を継承することは、難しく、第三者への継承が今後進むと考えています。

農業は、昔から多面的な機能があり、景観の維持や文化の創造、地域と多くの事に係ってきました。

気候による影響など安定的に農業を営めないということなどが、大きくクローズアップされ、農業は、大変でなかなか儲からないというイメージがついてしまっています。

しかし、農業経営をきちんと行い生計をたてている農家も、おり、そんなイメージを打ち破る農業を安定的に取り組める仕組みづくりと今回の取り組みなどを合わせ、定住移住を促進し、人口減少、高齢化、過疎化によりその機能が大きく崩れ始めている集落を元気にし、農業を元気にするべく取り組んでいきたいと思えます。

紀ノ川農協は、金融や共済の取り扱いのない純粋に農産物の販売を行っている販売専門農協で、生産者が立ち上げた農協です。

そんな農協だからできること。紀ノ川農協では、農業の垣根を超え、地域づくり、担い手づくり、販売先づくりに取り組みます。

まず、若手(20～49歳まで)の農業に従事している方や農業に関する仕事に従事されている方

の、パートナーを見つけ、安定的に農業を営める環境づくりに努めるため婚活イベントを開催し、生産者に恋し、和歌山に恋し、移住してくれるパートナーを募ります。またそれと平行し、耕作放棄地の再生プロジェクトを行います。

耕作放棄地となった農地をリフレッシュし、農産物を栽培できるように取り組みます。

そして、その圃場をトレーニング圃場にし、新たに農業を始めたい方や定年後第二の人生を歩もうとしている方などに、農業に関する技術研修等を行い、農業の担い手になって頂き、都市部から応援にきていただき、耕作放棄地を再生したいと思います！

随時 HP に詳細は、アップしていただきます。

皆さまから少しずつ支援、応援をしていただくことで、生活に欠かせない食を守っていきたいと思います！！

【婚活イベント概要】

『婚活プロジェクト～てんとうむしの恋』

開催日：2017年8月11日(山の日)

会場：黒沢牧場、黒沢ハイランドゴルフクラブ(和歌山県海南市上谷 603)

主催：紀ノ川農業協同組合

後援：大阪いずみ市民生活協同組合

【定員】男性10名・女性10名の計20名

お申込み、詳細は、HP 参照(<http://www.kinokawa.or.jp/>)

【二次締め切り】6月10日(土) 【三次締め切り】7月1日(土)

【組合概況】

紀ノ川農業協同組合

代表者：代表理事 宇田 篤弘

所在地：本所 和歌山県紀の川市平野 927

川辺支所 和歌山県日高川町小熊 6078

設立：1983年

事業内容：農産物の委託販売

出資金：1億6600万円

和歌山県全域を対象とした農産物の販売と組合員の生産資材の購買を行う販売専門農協です。40年産直に取り組んでいます。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

紀ノ川農業協同組合 総務部総務課

担当 味村 妃紗

TEL: 0736-75-5036 E-mail:h-mimura@kinokawa.or.jp